

第2学年4組 国語学習指導案

場所 2年4組教室 指導者 小嶋 華代子

- 1 単元名 語られる未来、問い直す私たち ～論理的思考で読み解く「モアイは語る」～（6時間完了）
- 2 目標
 - ・筆者の意見がどのような根拠によって支えられているかを捉えるとともに、より適切な根拠のあり方を理解することができる。（知識・技能）
 - ・文章の構成や論の展開について考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。（思考・判断・表現）
 - ・意見と根拠の結びつきを確かめ、他者と話し合いながら論理の展開に説得力があるのかを吟味しようとする。（主体的に学習に取り組む態度）

3 『本単元』における学びをたのしむ生徒の姿について

本単元における学びのたのしさは批判的に本文を読み取り、自分の考えをもち、論理的に読み解くことで生まれると考える。「あなたは靴のセールスマン」を題材にした意見文について話し合わせることで、理由づけに納得できるか疑いながら読むことの必要性を実感させ、批判的に本文を読むきっかけをつくる。友達と理由づけの妥当性について話し合う中で、多様な視点に触れながら学びを広げる姿を引き出したい。また、多様な視点を取捨選択しながら、より説得力のある考えをもつ姿にも期待したい。本単元の議論を通じて、「理由づけと意見のつながりに着目して、説得力があるか考えながら文章を読んだり書いたりしていきたい」と次の学びへとつないていく姿を目指す。

4 単元構想

展開	生徒の好奇心を引き出していくための単元構想の工夫 手だて①	学習課題と予想する生徒の姿		学習課題	予想する生徒の姿
出会う	理由づけの重要性を実感させるために、「あなたは靴のセールスマン」の題材で、どちらに説得力があるかを考える。	説得力があるのはどっち？理由づけに着目して、自分の考えを伝え合おう。（1時間） 「あなたは靴のセールスマンです。」 事実 アマゾンの奥地で全員が裸足で生活する村を発見した。 理由づけ 靴のよさを知らないから、便利だということを伝えたら靴を欲しがらるだろう。 意見 靴は売れる。 理由づけ 靴が必要な生活をしていないから、靴に興味をもたないだろう。 意見 靴は売れない。 私はどちらも納得できるよ。どちらも疑う余地がある。理由づけの仕方では意見が変わるの。 意見文の理由づけに納得できるか疑いながら読むことが大切だな。			
	理由づけに着目して、疑う余地がないか考えることができるように「三角ロジック」を用いる。	「モアイは語る」の論説文は、理由づけに疑う余地がないか吟味しながら読もう。（2時間） 意見 モアイを作ったのはポリネシア人である。 意見 モアイは木のころを使って運んだ。 意見 森の消滅でモアイは作られなくなった。 ・モアイを作り始めるまでにポリネシア人が増えたのか。 ・遺跡の数と人口増加はつながるのか。 ・木があった事実はあるが、木で運んだ事実はない。 ・他の方法の可能性もある。 ・ヤシの木は7世紀ごろから減ってきているが、再生できなかったのか。 ・必要な木を使い切ることはあるのか。 森の消滅が原因でイースター島の文明は崩壊したのかな。（1時間） 事実と推測を分けておこう。 他の可能性 ・ヤシの木の減少と農耕地の増加は花粉から分かる。（事実） ・人口増加の事実はない。（推測） ・農作物が採れない事実はない。（推測） ・生活に必要な木を使い切るかな？ ・ネズミが森林を荒らした？ ・止められない何かがあった？ 資料提示 事実と意見のつながりに無理があるのではないかと考えるきっかけとして、「イースター島の文明崩壊の原因は、西洋人の持ち込んだ疫病と奴隷化」という説を紹介する。 事実と意見のつながりに無理があるのではないかと考えるきっかけとして、「イースター島の文明崩壊の原因は、西洋人の持ち込んだ疫病と奴隷化」という説を紹介する。 「文明崩壊の原因は森の消滅だ」という筆者の論は、妥当なのかな。			
深める	「事実」と「意見」のつながりに無理があるのではないかと考えるきっかけとして、「イースター島の文明崩壊の原因は、西洋人の持ち込んだ疫病と奴隷化」という説を紹介する。	森の消滅が原因でイースター島の文明は崩壊したのかな。（1時間） 事実と推測を分けておこう。 他の可能性 ・ヤシの木の減少と農耕地の増加は花粉から分かる。（事実） ・人口増加の事実はない。（推測） ・農作物が採れない事実はない。（推測） ・生活に必要な木を使い切るかな？ ・ネズミが森林を荒らした？ ・止められない何かがあった？ 資料提示 事実と意見のつながりに無理があるのではないかと考えるきっかけとして、「イースター島の文明崩壊の原因は、西洋人の持ち込んだ疫病と奴隷化」という説を紹介する。 事実と意見のつながりに無理があるのではないかと考えるきっかけとして、「イースター島の文明崩壊の原因は、西洋人の持ち込んだ疫病と奴隷化」という説を紹介する。 「文明崩壊の原因は森の消滅だ」という筆者の論は、妥当なのかな。			
	確かな情報を選択し、根拠をもって対話する機会を作るために、グループ活動で異なる視点を見つけたり、妥当性を問い直したりする話し合い活動を行う。	本時 今の地球もイースター島と同じ危険がある？危険度で表し、理由を説明しよう。（1時間） 危険度 0%危険度 50%危険度 100% 昔と今では違う。小さな島と地球では規模が違う。共通点もあるが、今の地球にはイースター島にはないものがある。今の地球とイースター島の事例は共通する。 （相違点・他の可能性） ・今は、資源を木だけに頼らなくていい。 ・他の国と協力したり情報交換したりすることができる。 ・食料生産の技術開発がされている。 （共通点） ・森林に守られている。 ・人口が急激に増え続けている。 ・森林を切り開いて農耕地を切り開いている。 他の人の意見を聞いて、共通点にも他の可能性があると感じたから、理由づけに加えよう。自分の意見にも疑う余地があった。他の人の意見を聞いて、理由づけを厳選したら、自分の意見が確かなものになった。 理由づけと意見のつながりに着目して、説得力があるか考えながら文章を読んだり書いたりしていきたいな。			
活用する	今までの学びを基に意見文を書かせることで学びの軌跡を想起させる。	筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめよう。（1時間） 本当にそうなのか、他の可能性はないか確認しよう。事実が足りないところを調べてみたい。人の意見文も理由づけと意見のつながりに着目して読みたい。 私の意見に納得できるか聞いてほしい。			

